

社協だより

2018年3月22日

発行者
上松町社会福祉協議会
TEL 52-3560

ふれあいネットワーク

ありがとうございます。
共同募金配分事業

まごころおせち宅配サービス



12月29日に年末恒例の「まごころおせち宅配サービス」を実施し、48件57名の高齢者世帯および障がい者の皆さんにお届けしました。当日の朝8時半から調理ボランティアの皆さんが集まって調理し、真心こめて手作りしていただきました。8種類の料理を詰めた色鮮やかな“おせち”が出来上がり、午後2時から配達ボランティアの皆さんによって各ご自宅にお届けいただきました。年末のお忙しい中にもかかわらず、調理16名、配達12名の個人ボランティアや役場有志の皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました。



～ お節献立～

えびの芝煮	いりどり
なます	きんぴらゴボウ
黒豆	こんにゃくの白和え
昆布巻き	りんご芋きんとん

ありがとうございます。

◇共同募金配分事業◇

上松中学校1学年福祉体験学習

平成29年10月25日(水)

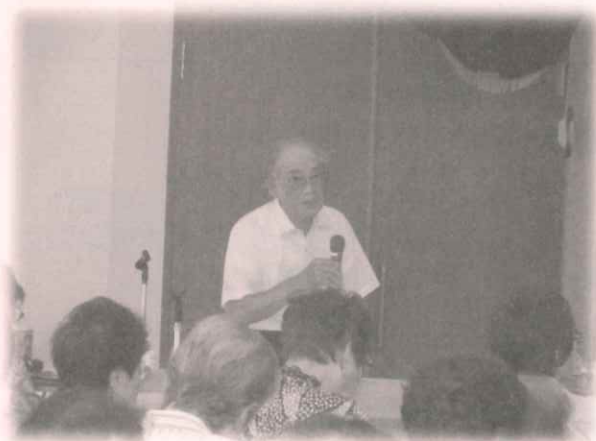
上松中学校1学年の福祉体験学習として、デイサービスセンターあげまつを訪問していただきました。施設の見学をしてから、奉仕活動で窓拭きをしていただきました。その後ご利用者のみなさんと“上松かるた”を見ながら交流しました。



木曽ブロックボランティア地域活動フォーラム

平成29年8月29日(火) 木祖村村民センター

木曽郡内でボランティア活動に取り組む約150名の方が参加しました。午前、郷土史家の澤頭修自先生をお迎えし、『日本遺産に指定された「木曽路」～自分たちの住む木曽の文化、伝統を見つめなおそう』と題して木曽の歴史等についてご講演いただきました。ランチタイムには、郡内の福祉施設の製品販売も行われました。午後は、「水木沢天然林の散策」「木曽川源流ふれあい館の見学」「木祖村郷土館とお六櫛実演の見学」「藪原宿の散策」の4つに分かれて、交流を深めました。



第1回木曽地域ボードレスアート展 カラース COLORS

ボクは
ぼくとよ

平成29年10月27日(金)～29日(日)の3日間、ひのきの里総合文化センターにて第1回目となる木曽地域ボードレスアート展～COLORS～が開催されました。

木曽郡内の福祉施設、養護学校、地元小・中学校支援クラスに在籍されているみなさんの作品約111点を展示、約330名という多くの方にご来場いただきました。



他にもたくさんの感動の声をいただきました。ご来場、誠にありがとうございました。出品者のみなさん、会場に入るとまっ先にご自分の作品を探し、見とれていたり、どこか誇らしげな顔でうれしくなりました。これからもアートする時間、創作・表現活動の時間を大切に、次回の展示会へ向けて“みんなで”楽しく活動していきたいと思っています。

* 来場者感想ノートより *

- ・無心の心で書くものは、何とも言えない。
- ・誠に驚きました。できないではなく、やればできるという事を知りました。
- ・日常のせわしない中からふっと心がゆるみました。みんなすごいね！
- ・パワーを頂きました!! 私もガンバル
- ・みんなの気持ちが出ている様な作品ばかりで楽しくなりました。
- ・作品からなにかじわ～と、なにかが伝わってくる。
- ・とても魅力的な作品にひき込まれていき、いやされました。
- ・これからもみなさんのステキな感性を発信して下さい。
- ・心がすごく晴ればれし、自分とてらし合わせてみると、もっとがんばらなくては。勇気を頂いて帰ります。
- ・アートで自分を表現できるって素敵ですね。

障がい児・者余暇活動支援事業

レッツ!

上松町社協では、NPO 上松町こども未来会議との共催により、月1回のアート活動やスポーツの余暇支援活動を行っています。



09月

「長野県障がい者文化芸術祭作品展」出展・見学

011月

「サンスポートフロア
ホッケー交流イベント」

今年は4チームで参加!



健康と福祉のつとめ



平成29年11月3日(金) 上松町ひのきの里総合文化センター

“ひのきの里の秋まつり”にあわせて、上松町・上松町保健委員会・上松町社協共催により開催し、各団体のご参加・ご協力のもと、大勢にご来場いただきました。

上松町社協と上松町ボランティア連絡会では、『不用品バザー』を開催し、当日の売り上げを“被災地義援金”として寄付させていただきました。

また、上松町ボランティア連絡会“お針の会”のみなさんによる、エコバッグやリメイク作品などの作品販売も行いました。



～「健康と福祉のつとめ」多くのみなさまのご協力、ありがとうございました。～

ありがとうございます
◇共同募金配分事業◇

希望の旅バス遠足

満蒙開拓平和記念館～川本喜八郎人形美術館：平成29年11月17日(金)

上松町身体障害者福祉協会との共催による“希望の旅バス遠足”を実施しました。清内路峠を通り、まずは阿智村の満蒙開拓平和記念館を見学しました。見学後、飯田市へ移動し昼食をとってから、川本喜八郎人形美術館へ向かいました。NHK 人形劇「三国志」などで使用された人形が、たくさん展示されており、1体ごと表情や服が異なり、細部まで動かせる様子を実際に見ることができました。帰りには“お菓子の里飯田城”や“清内路峠のおつけもの”に寄り、お土産をたくさん購入し上松町へ帰ってきました。穏やかな天候に恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。



デイサービスセンターあげまつ “年忘れ・お楽しみ会”

平成29年12月6日(水)～9日(土)

デイサービスセンターあげまつでは「年忘れ・お楽しみ会」を開催しました。上松町内や木曽郡内で活動される皆さんをお招きし、楽器の演奏や歌、紙芝居や踊りなどを発表していただきました。発表に合わせて手拍子をしたり歌ったり、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

～ 発表団体・各演目 ～

- ・ 12月6日(水) 愛唱会 合唱披露
- ・ 12月7日(木) 橋場座(大桑村) 紙芝居「白波五人男」
- ・ 12月8日(金) JA女性部 スコップ三味線
フラダンス
- ・ 12月9日(土) 小森林(こもり)の会 バンドーラ演奏



「愛唱会」の皆さん



「小森林の会」の皆さん



「橋場座」の皆さん

年末のお忙しい中、また寒い中お越しいただき、素敵な演奏・演技等をご披露いただきました皆様、本当にありがとうございました。今後の一層のご活躍を期待しております。



JA女性部の皆さん



ありがとうございます
◇共同募金配分事業◇

平成29年度 上松町社会福祉大会

平成29年12月14日(木) ひのきの里総合文化センター

上松町社会福祉協議会では「住民みんながお互いに支え合える福祉の地域づくり」を目指して、社会福祉大会を開催しました。

【式典】 長年に渡り社会福祉協議会の活動にご尽力いただきました3名の方に表彰状を贈呈しました。

＜表彰者＞ 松田 利一 様、荒岡 千代子 様、大道 忠 様

**【講演】『できることから始めよう！
災害から命と暮らしを守るために』**

講師：特定非営利活動法人 レスキューストックヤード
常務理事 浦野 愛 氏



被災するとはどういうことか、その時の為に何を準備したらよいか…等過去の被災地の事例を交えながら、共に支え助け合えるまちづくりについてお話しいただきました。



「災害から命を守るために必要な事」

○揺れから命を守る

- ・家具の転倒防止を事前にしておく。
- ・家の耐震診断をして、必要に応じて耐震化をしておく。
家全体が難しければ寝室のみ耐震化するのもよい。

○逃げ遅れを防ぐ

- ・地震の時に枕元にあったら良かった物…懐中電灯、ホイッスル、厚底スリッパ

- ・どこに誰がいるのか分かっているのはご近所さん。いざという時にすぐ顔が浮かばないと助けられない。すぐには消防などの助けも来ない。
- ・普段から「知っている・気になる」事が強み。馴染みの顔でさらに安心。地域の人に嫌われないように、つながっておくと良い。(助ける人は好きな人から助ける。)

○災害関連死と健康被害を防ぐ

- ・避難所は、被災者が活力を持って本格的な生活再建に踏み出すための中継地点。ここで健康を害したり、亡くなることが無いようにしなければならない。
- ・周囲が目配りすることで、早期の受診をすすめるなど対策に知恵を絞る。
→これをするのは、一緒に避難している地域の人。
- ・食べ物、水の確保と同様に、トイレの環境整備についても考えておかなければならない。

○できることから始めよう！

- ・“炊き出し訓練”は事前に材料等を準備しておくのではなく、各自家からお米や野菜を持ち寄って行く。(災害時に材料等の準備が整っていることはない。)
- ・“仮設トイレづくり体験”大勢避難するとトイレも足りない。
- ・新聞紙で器をつくる等、身近にある物を工夫して使うアイデアの引き出しを増やす。
- ・未来を担う子ども達にも参加してもらう。

近年災害が多発しています。いざという時に備えて、日頃からできる備えをし、隣近所の方々とのつながりを深めておくことの大切さを改めて考えることが出来ました。

人材育成講座

●地域塾●

～地域ですっと暮らしたい・・・私たちにできること～
「おたがいさま」の気持ちで、共に支え合うこれからの地域づくりのために
“人材育成講座・地域塾”を毎回テーマを変えて開催しました。

●第3回● 平成29年11月14日(火)

「みんなで子育て」～長野市子育て応援団ブックの取組から～

講師 稲村 和美 氏 (ながの子育てネット)

“ながの子育てネット”は子育てサークルのネットワーク構築を目的として設立され、現在は、子育て支援に関わる団体・個人をつなぐために、“子育て応援団一覧ブック”の作成や交流会の開催やなどを行っています。

○お子守りボランティア

子育て中のお母さん達が交流したり学んだりする間、同じ場所でちょっと子どもを見てくれる。困ったらすぐお母さんの元に戻ることが出来る。

お子守りボランティアをする人も、「楽しい!」と思えることが大切。そうすることで、長続きする。



○人は迷惑をかけあいながら生きていくもの
迷惑をかけない人になってほしいと言うのはやめよう。人は迷惑をかけあい生きていく。子どもが相談できる人に相談できるようになるには、大人が相談して誰かとつながっている姿を見せること。

●第4回● 平成29年11月20日(月)

「障がいを知り、共に生きる」

～あいサポーター研修～

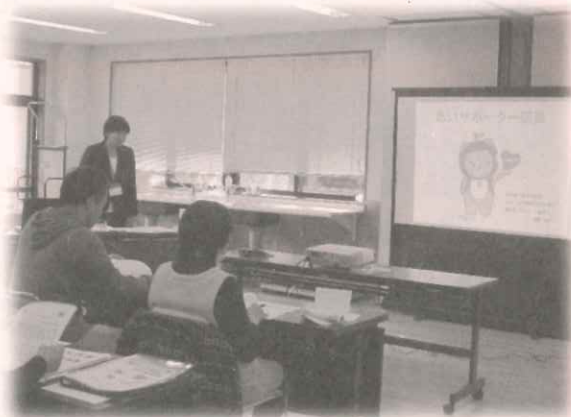
講師 福岡 佳代 氏

(長野県障がい者支援課

信州あいサポート推進員)

メッセージ 片桐 美登 氏

(障害者支援施設 西駒郷)





挨拶など簡単な手話を教わりました。

○あいさポーターとは

障がいの特性、必要な配慮などについて知り、日常生活で困っているような時に、できる範囲でちょっとした手助けを行います。

○障がいがあるということは普通のこと

私達の心の中にも何かしらの偏見はないだろうか？

「気になる関係」になる。ほんのちょっとした気遣いを今日から始めよう。

※「あいサポート運動」の詳細につきましては、長野県ホームページでご覧いただけます。

●第5回● 平成29年11月28日(火)

「ほっとカフェ ～わたの実～」～飯田市オレンジカフェ

(認知症カフェ)の取組から～

講師 松川 光子 氏

(わたの実会 世話人代表)

○わたの実会

平成10年に認知症の介護家族によって発足。介護者のつどいを開催し、介護者同士が悩みや苦しみなど話し合う語らいの場となっています。同じように介護をしている仲間がいるということを実感でき、そこでなら愚痴でも何でも話し合えます。



○ほっとカフェわたの実

認知症の介護に悩む人やご本人が気軽に憩いつどえる場所。(月2回開催) 来てくれる人がのんびり過ごしていただいています。



簡単な手遊びを実際にやってみたり、ハーモニカ演奏に合わせて歌を歌いました。

●第6回● 平成30年1月26日(金)

「想いをかたちに」

講師 内山 二郎 氏 (フリージャーナリスト・長野県長寿社会開発センター理事長)

<第1部>住民相互の支え合い活動って？

・・・活動報告・・・

大桑村「地域ささえ隊」の活動について

大桑村社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 杉村 信子 氏

○“気兼ねなく”が大事

無償での支え合いは、継続して何回もとなると支援する側も大変。してもらう側も気兼ねで、お礼に困る。

○専門職だけでは、地域の困りごとを支えきれない

身近な住民同士が協働し、支え合う事の安心感。地域住民、行政、社協の役割の確認をする。

○あくまでも生活支援

生活支援なので、ご自分でやれることはやってもらいできないことを支援する。家族との関係は大切に。



<第2部>住民流地域づくり。何からはじめよう？

旗揚げアンケート方式ディスカッション

「地域に支え合い・助け合いの絆を！」

- 質問に対し、5つの回答から自分の思いに近い物を1つ選んでいただき、意見を伺いました。
(質問と多かった回答を2つずつご紹介します。)



問1.「ボランティア活動などを始めたきっかけは？」

- ・人の為に役立つことをしたかったから。・住みよい地域づくりに関わりたかったから。



問2.「今までのボランティア活動でうれしかった事は？」

- ・人に喜んでもらえた。
- ・充実感、達成感が得られた。

問3.「ボランティア活動に新しい仲間や男性や若い世代を取り組むためには？」

- ・活動内容を広く知ってもらう努力をする。
- ・一人一人の特技や持ち味を発揮できる活動にする。

問4.「地域がもっと元気になるために、考えなければいけないことは？」

- ・ご近所の「お互いさま」の関係づくり。
- ・誰でも気軽に参加できるボランティア活動などを盛んにする。

問5.「支え合い活動として、特にできそうなこと・やってみたいことは？」

- ・誰でも気軽に参加できる居場所づくりなどの開催やお手伝い。
- ・ゴミ出しや雪かきなど、気が付いた時に出来る事をお手伝い。

今回参加されたみなさんからは、「できる事から始めたい」「サロンに参加したい」「地域づくりが大事」などのご感想をいただきました。

お忙しい中大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

社会福祉協議会では、支え合える地域づくりの為に平成30年度も講座を計画していきます。開催について詳細が決まりましたらお知らせいたします。

また、地域でのサロン・カフェなど居場所づくりも進めていますので、関心がある方はお気軽にお問合せ下さい。

みなさまのご協力 誠にありがとうございました

平成29年度上松町社会福祉協議会 ●会費報告●

◇戸別会費の内訳：単位（円）◇

地 区	戸数	金 額	地 区	戸数	金 額
上旭町	27	27,500	西中	40	40,000
下旭町	41	40,000	台	5	5,000
上町	30	30,000	西奥	19	19,000
上瀬木	49	50,000	東奥	29	28,500
下瀬木	31	30,827	東里1	115	115,700
本町	25	24,200	東里2	38	39,000
中町	30	30,000	東里3	10	8,400
沖田町	52	44,000	北見帰	28	27,500
常盤町	18	18,000	南見帰	36	37,000
下町	21	21,000	寝覚1	82	80,190
観音	21	16,800	寝覚2	55	49,200
田方	20	22,000	寝覚3	38	37,600
正島	23	23,000	吉野	37	37,000
北栄町	52	51,200	小野	21	20,200
南栄町	49	49,000	荻原	33	33,000
宮前	73	72,550	立町	45	44,500
北上条	31	32,000	倉本上	34	34,000
南上条	16	17,600	倉本下	27	31,000
島	65	64,500	生活援ハス	1	1,000
小田野	49	47,145	計	1,416	1,399,112

○一般会費（1,416戸）
1,399,112円

昨年の7月から8月の期間に住民のみなさま、町内等の法人企業のみなさまにご協力いただきました社協会費の集計をご報告します。ご協力いただきました会費は、社協で行う「まごころ弁当宅配サービス事業」や「社協だより」の発行、法人運営・役員事務運営費等、各種地域福祉事業を行っていくための財源として大切にに使わせていただきます。

ご協力誠にありがとうございました。

○法人特別会費（48件） 446,000円

◇法人会費の内訳◇ ご協力いただきました法人のみなさま（48件）（順不同、敬称略）

(株)あい愛 上松町商工会 上松電子(株) 上松町木材工業(協)
上松モータース(株) 上松陸送(株) (株)石田技術コンサルタンツ (株)エマ商会
(有)越前屋 (株)オアシス (有)大井木材 (有)上松大畑代理店 (株)大澤商店
(有)環境サービス 木曽化工(株) 木曽協和産業(株) 木曽建設産業(株) 木曽官材市売(協)
(有)木曽鉄工所 木曽農協上松支所 木曽薬品工業(株) (株)共立自動車整備工場
(宗)玉林院 (株)向陽電気商会 (株)黒田葬祭 (有)三和設備 (有)下島木工
(有)清水商事 (株)進藤邦夫商店 (有)田口宇太郎商店 (有)中林工業
(有)南木曽電気商会 西野機械工業(株) のむら木材(株) (有)畑政市酒店
(有)林事務所 (有)畑中工務店 ひのき精香(株) (有)古瀬建築 (有)フルセ工業
(有)町野産業 山一建設(株) 山田印刷(株) (有)吉野建築 サンククリーン木曽
NPO 法人上松町こども未来会議 NPO 法人おてつだいネットワーク木曽

平成29年

11月3日健康と福祉のつどい・不用品バザー義援金報告

不用品バザーの売上金を義援金として送金しました。みなさまのご協力ありがとうございました。

◇平成29年福岡県7月大雨災害義援金 7,486円
◇ " 大分県豪雨災害義援金 16,487円
◇ " 台風18号大分県災害義援金 16,487円(計40,460円)

◇法人募金の内訳◇ ご協力いただきました法人のみなさま(38件)

(順不同、敬称略)

(有)アース・テック (株)あい愛 上松電子(株) 上松町木材工業(協)
 上松モータース(株) 上松陸送(株) (株)石田技術コンサルタンツ (株)エマ商会
 (有)越前屋 (有)上松大畑代理店 (株)大澤商店 (有)環境サービス 木曾化工(株)
 (宗)玉林院 木曾官材市売(協) 木曾協和産業(株) 木曾建設産業(株)
 木曾農協上松支所 木曾薬品工業(株) (株)共立自動車整備工場 (株)黒田葬祭
 (株)向陽電気商会 (有)三和設備 (株)進藤邦夫商店 (有)杉本建設 (有)中林工業
 西野機械工業(株) のむら木材(株) (有)畑政市酒店 (有)林事務所 (有)畑中工務店
 ひのき精香(株) (有)古瀬建築 (有)フルセ工業 (有)町野産業 山一建設(株)
 (有)吉野建築 (宗)臨川寺

<平成29年度 赤い羽根共同募金報告>

幸せな地域づくり赤い羽根が支えます



あけがさまで70周年

募金総額 2,388,007 円

◇戸別募金の内訳(単位:円)◇

～募金額内訳～

☆戸別募金(1,418件)

2,070,813 円

☆法人募金(38件)

266,000 円

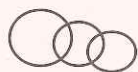
☆窓口募金・その他 51,194 円

(内、木曾花園会様(託鉢)48,972円)

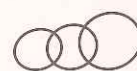
昨年10月から12月にご協力
 いただきました募金は、長野県共
 同募金会に集約され、平成30年
 度の事業費として、福祉施設や社
 会福祉協議会等の各福祉団体に
 配分され、地域福祉推進の為に活
 用されます。

みなさまのご協力、誠にありが
 とうございました。

地 区	戸数	金 額	地 区	戸数	金 額
上旭町	27	40,920	西中	41	62,301
下旭町	38	54,186	台	5	8,000
上町	31	43,620	西奥	16	25,600
上瀬木	47	71,760	東奥	29	40,002
下瀬木	30	46,400	東里1	120	173,950
本町	25	37,600	東里2	38	60,307
中町	30	48,000	東里3	13	13,815
沖田町	44	70,400	北見帰	31	43,615
常盤町	30	48,000	南見帰	25	38,010
下町	22	35,200	寝覚1	81	114,250
観音	20	24,300	寝覚2	46	56,485
田方	19	31,200	寝覚3	56	67,010
正島	23	35,000	吉野	38	60,800
北栄町	49	74,800	小野	21	30,600
南栄町	52	70,740	荻原	32	47,080
宮前	73	110,550	立町	47	67,450
北上条	30	44,701	倉本上	33	47,007
南上条	15	23,400	倉本下	27	41,110
島	63	90,250	生活支援ハウス	—	—
小田野	51	72,394	計	1,418	2,070,813



あたたかなご厚志ありがとうございました



平成29年度 寄付報告 (平成29年4月1日～平成30年2月28日分)

<個人> ・匿名様 3件 45,000 円

・ビール券6枚、ツボ押湯呑20個、洗濯用洗剤1箱、シャワーチェアー、
 手押し車、おむつ、下着類、手作り人形 等

<団体> 木曾建設労働組合 様 20,000 円 (ひのきの里の夏祭り募金箱よりご寄贈)

玉林院花園会女性部 様 10,000 円 (観音供養会売上金の一部よりご寄贈)

日本禁煙友愛会上松支部 様 バスタオル50枚 (在宅要介護者等の為に)

上松町老人クラブ連合会 様 そうきん120枚、タオル50枚、バスタオル4枚

木曾郡退職公務員連盟 様 フェイスタオル18枚

上松小学校PTA(教養部)様 介護布用に古着3袋(デイサービスで使用させていただきました)

◇ お 知 ら せ コ ー ナ ー ◇

ありがとうございます
◇社協会費事業◇

『まごころ弁 当』はいかがですか？

ボランティアのみなさんのご協力により、週2回お弁当の宅配サービスを行っております。
栄養たっぷり、まごころこもった手作りの味です。ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。

*お届けする日 **火曜日と金曜日のお昼**（祝祭日等の時はお休み）

*ご利用いただける方 おおむね70歳以上の一人暮らしや高齢者世帯の方
障害のある方等、日中の食事の支度が困難な方

*利 用 料 **お 弁 当：410円 おかずのみ：360円**

※おかゆやきざみ食など、ご希望の方はご相談ください。



「調理・配達ボランティア」募集中！

調理や配達にご協力いただけるボランティアの方も募集しています。お手伝いいただける方はご連絡ください。（「調理」又は「配達」での活動となります。）

*「調理」…9時～12時頃まで（月に1度 火曜日か金曜日）
健康センター調理室にてお弁当づくり

*「配達」…11時頃～12時頃（火曜日か金曜日の月1回～4回）

出来上がったお弁当を利用者のお宅までお届け。

※運転できないけどご近所なら…という方も大歓迎！！

（ボランティアさん宅までお届けしたお弁当を配達していただきます。）



ご家庭に眠っている・・・ご不要になった



介護用品・未使用の衣類

お譲りください。

ご協力いただいた物品は、介護が必要になった方がお試して介護用品を使用したり、
急な入院等で衣類の準備が難しい方に、ご活用頂きます。

＜回収品＞ ◎介護用品

・ポータブルトイレ ・シャワーチェア ・浴槽台 等

◎未使用の衣類

・肌着 ・ズボン ・上着 ・ねまき、パジャマ
・靴下 ・タオル ・シーツ 等



※回収可能かご不明な場合は、お気軽にお問い合わせください。

＜回収日＞ 随 時 （平日8：30～17：30）

＜回収場所＞ 上松町社会福祉協議会

（健康増進センター前 ひのきの里総合福祉センター内）

※直接お持ちいただくか、お持ちいただくことができない場合はこちらで
取りに伺います。お気軽にご連絡ください。

【問合せ・連絡先】社会福祉法人 上松町社会福祉協議会（電話）**52-3560